

6.11 脱原発 世界同日アクション 原発いらん！ 関西行動 第二弾

集会アピール

今年はチェルノブイリ原発事故から25年に当たります。福島第一原発では炉心溶融事故発生から3ヶ月になりますが、未だに事故は収束していません。マグニチュード8クラスの余震や台風による事態の悪化および放射能汚染の拡大が危惧されます。

今回の重大事故では、原発の立地審査指針、安全設計審査指針、耐震設計審査指針のすべてに根本的に重大な欠陥のあることが明らかになりました。原子力安全委員会はそれを認めながら、何も対策を講じようとしていません。浜岡原発は運転停止になりましたが、国内のどの原発でも、地震や津波を契機として、いつ重大事故が起きても不思議ではありません。

私たちは本日、福島現地からのアピール、また福井からのアピールを受け、地球上にある「全ての原子力発電所を止めてほしい」という熱い思いを互いに共有しました。福島・福井をはじめ全国の運動と連帯して、関西電力など電力会社に原子力からの撤退を求め、政府に原子力政策の抜本的転換を求め、脱原発社会に向けて闘うことを確認しあいました。

関西電力に問いかけます。「しっかりと事実を受け止めて下さい。フクシマ事故が現在進行形であることを受け止めて下さい。地震が原発を襲ったら、原発震災と呼ばれる大惨事がもたらされます。今まででも、これからも、どれくらいヒバクさせられるのだろうか、また、いつ何どき大事故が勃発するのだろうか、不安な気持ちでビクビクして暮らしているのです。これは、私たちみんなの頭に焼きついています。」

関西電力は、これまでも原発の安全宣伝をおこなってきました。フクシマ事故は、これらがみんな大ウソであったことを証明しました。

3ヶ月以上調整運転中の大飯1号炉を今すぐ止めて下さい。30年以上経った美浜1～3号、高浜1、2号、大飯1、2号を閉鎖して下さい。プルサーマルを止めて下さい。美浜4号を増設しないで下さい。また、非常に危険な「もんじゅ」を止めてください。さらに、敦賀1、2号炉を止めてください。3、4号炉の増設をしないで下さい。関西電力は原子力推進をやめて下さい。若狭の原発をすべて止めて下さい。

緊急時とはいえ、子どもたちに年間20ミリシーベルト、労働者に年間250ミリシーベルトのヒバクなどとんでもないことです。事故時はもとより日常的にもヒバクの強要なしに進められない原発はやめるべきです。

私たちは全国の、全世界の人々に訴えます。「めざそう！原発のない社会を。今こそ、共に手を取りあって、原子力を推進してきた電力会社、原子力メーカー、政府の責任を追及し、すべての原発の運転・建設・計画を止めさせ、脱原発社会に向けて前進しましょう！」